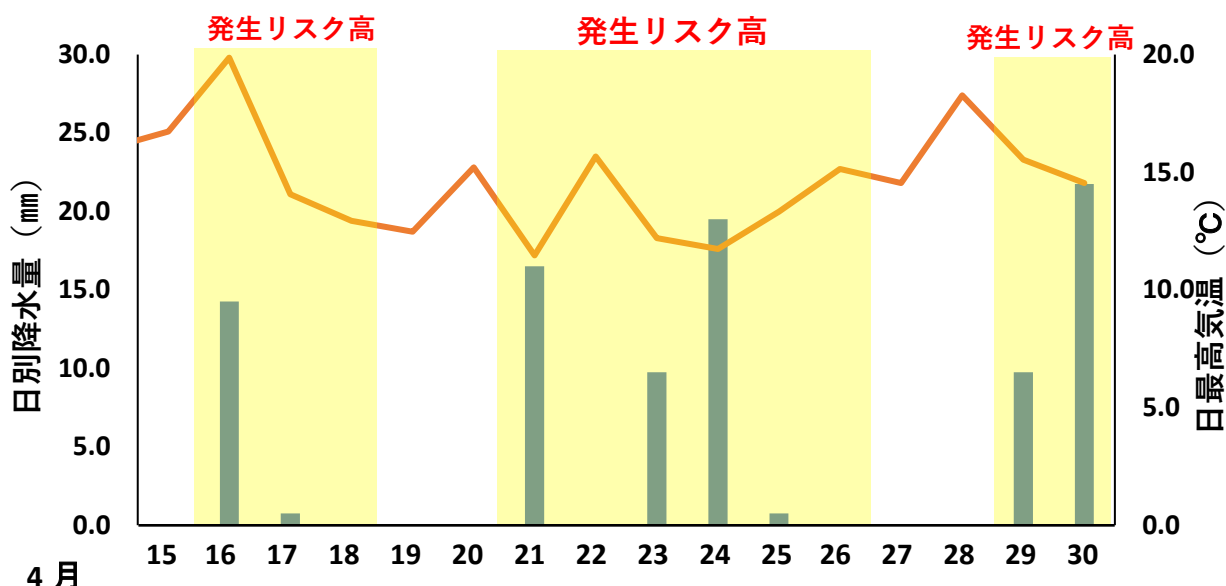


## 赤かび病が多発する可能性があります！ ～赤かび病防除対策を徹底してください～

県内各地域で赤かび病の発生が例年より早く確認され、湖北地域でも大麦「ファイバースノウ」で発生しています。

4月中旬以降、断続的に赤かび病の発生に好適な気象条件となっています。

### 【4月の日別降水量と日最高気温】



以下の情報を参考に防除対策を徹底してください。

### ファイバースノウ、びわほなみ

散布2回目の7～10日後に 3回目の防除 を実施しましょう。

### びわほなみ以外の小麦品種

散布1回目の7～10日後に2回目の防除を実施しましょう。



## 赤かび病に感染したファイバースノウ

防除の際は、農薬ラベルや下記の表を参照し、使用する薬剤の収穫前日数や使用回数を必ず確認して実施してください。

### 【赤かび病防除の薬剤例】

薬剤名	対象作物	収穫前日数	使用回数
チルト乳剤25	大麦	収穫21日前まで	1回
	小麦	収穫3日前まで	3回以内
トップジンM水和剤	麦類（小麦を除く）	収穫30日前まで	3回以内（出穂以降は1回以内）
	小麦	収穫14日前まで	3回以内（出穂以降は2回以内）
トップジンM粉剤DL	麦類（小麦を除く）	収穫14日前まで	3回以内（出穂以降は1回以内）
	小麦		3回以内（出穂以降は2回以内）
ワークアップフロアブル ワークアップ粉剤DL	麦類	収穫7日前まで	3回以内
ミラビスフロアブル	大麦	収穫14日前まで	2回以内
	小麦	収穫7日前まで	2回以内

赤かび病は、人畜に有害なカビ毒（DON：デオキシニバレノール）を生成するため、農産物検査において赤かび粒は混入しないこと（混入率0.0%）と定められています。良質の麦を育てる、食の安全を守るためにも、赤かび病への万全な対策（防除）が求められます。